



賞品を手に笑顔の選手



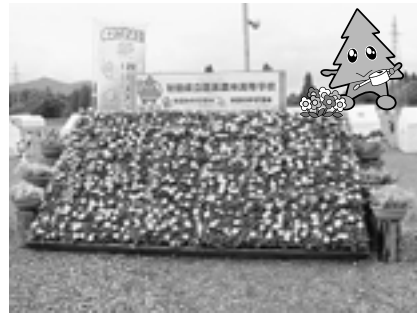
的で得点を確認する選手・役員。予選ラウンドで、山形県代表の武田昌幸さんが日本新記録、大会新記録の173点（1射あたり9.3点）を獲得しました



今大会には障害を持った方が5人参加され、その内車椅子での選手が2名いました



阿仁地区婦人ボランティア、阿仁中学校の1・2年生、米内沢高校の1年生がボランティアとして大会を支えてくれました



この写真ではよくわかりませんが、鷹巣農林高校より「阿仁」の文字を浮き出した飾花プランターが寄贈され、大会参加者や観覧者を華やかに迎えてくれました

アーチェリー競技の見方

国体では、ターゲット（標的）という競技で行なわれ、70m先から直径122cmの的に向かって矢を射ります。122cmの的には10段階に点数が分けられていて、真中の10点の直径は、6・1cmとなっています。個人戦は、1人72射の合計点で競われ、団体戦は、3人で27射の合計点のトーナメント方式で競われます。

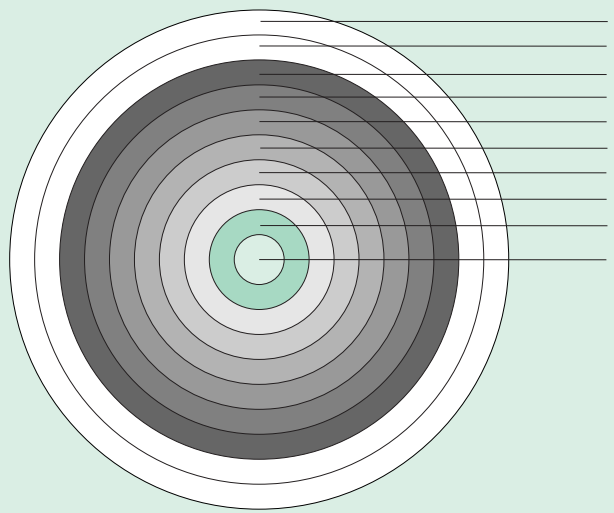
開催期間 平成19年10月5日（金）～7日（日）の3日間
会場 阿仁吉田特設アーチェリー競技場

的の大きさと得点・見所

直径は122cmで、真中の10点は直径が6・1cmとなっています。点数は、真中から10点・9点・8点・7点と10段階に分かれています。見所は、アーチェリーは自然が相手となるので、風を読んで風を味方にできるか、また、精神の集中度をぎりぎりまで高める緊張感が見所となります。皆さんも想像してみてください。70m先の6cmの的が見えますか。

実際の色

- 1点 □ 白色
- 2点 □ 黒色
- 3点 □ 青色
- 4点 □ 赤色
- 5点 □ 金(黄)色
- 6点 □
- 7点 □
- 8点 □
- 9点 □
- 10点 □



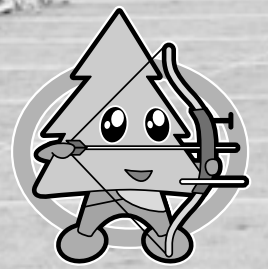
平成19年開催 君のハートよ位置につけ

秋田わか杉国体

北秋田市は、バレーボール、フェンシング、山岳、アーチェリーの会場です



全国から92選手が参加して行われたリハーサル大会（特設アーチェリー競技場）



秋田わか杉国体リハーサル大会

全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会

第39回全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会が、6月10日、11日の2日間の日程で、阿仁吉田市内の特設アーチェリー競技場で行われ、全国から92選手がエントリーし、熱戦を展開しました。

本大会は、平成19年に行われる秋田わか杉国体アーチェリー競技のリハーサル大会として、(財)全日本アーチェリー連盟、北秋田市、北秋田市教育委員会が主催で開催されたものです。

大会には、リカーブ部門に、壮年男子、一般男子、女子を合わせ72人、コンパウンド部門に一般男子と女子20人がエントリーし、この他、大会役員、ボランティア、来賓ら約300人が参加しました。選手を代表し、佐藤綾さん(県平鹿地域振興局)が「日頃の練習の成果を十分発揮し、最後の1射まで全力を尽くすことを誓う」と宣誓しました。



集中して矢を射る選手



力強く宣誓する佐藤さん